

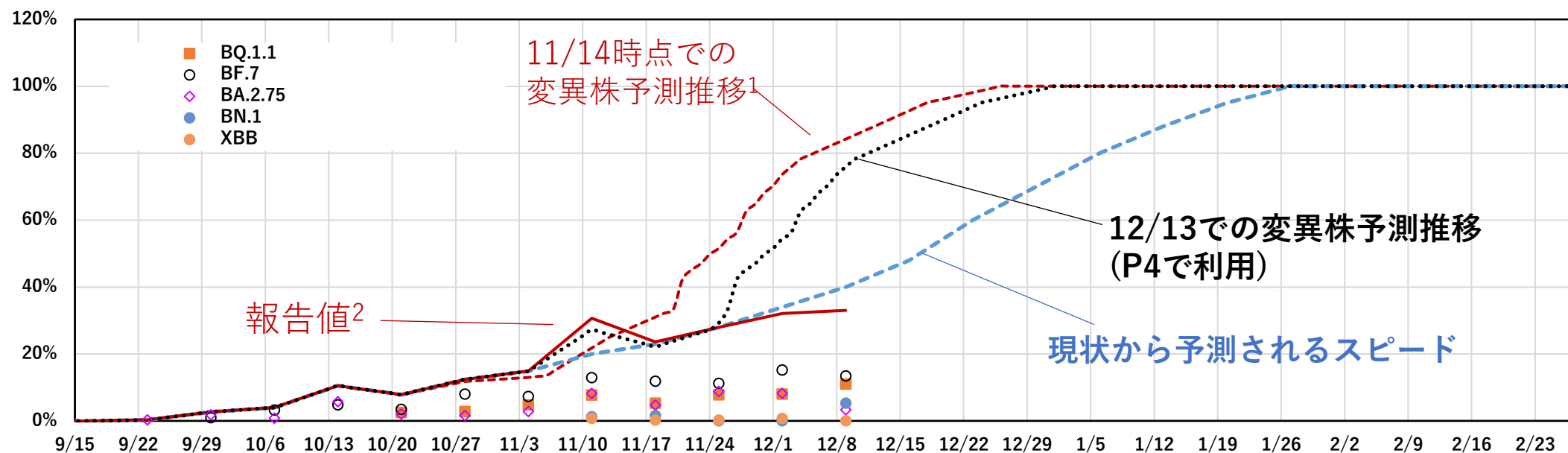
今後の新型コロナウイルス流行予測について ～12/27時点～

名古屋工業大学 先端医用物理・情報工学研究センター
センター長 教授 平田 晃正 准教授 小寺 紗千子

ahirata@nitech.ac.jp

新規変異株への推移と今後の仮定

新規変異株への推移が置き換わりのスピードの推移。
参考のため、これまでに仮定した推移のスピードも示す。多種類の変異株が同時流行しており、BA.5系統からの置き換わりは、BA.2系統からBA5系統への置き換わりとくらべて遅いスピード



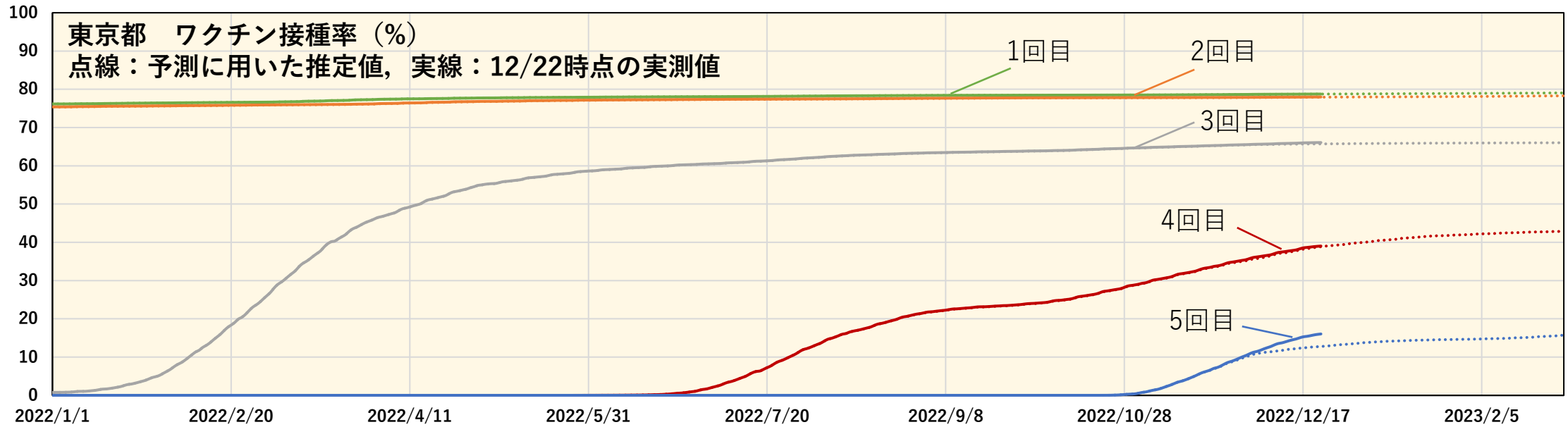
1. 厚生省ADBボード資料 P.75 (令和4年11月9日) <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001010889.pdf>

2. 東京都モニタリング項目の分析(令和4年12月22日)

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/022/753/20221222_05.pdf

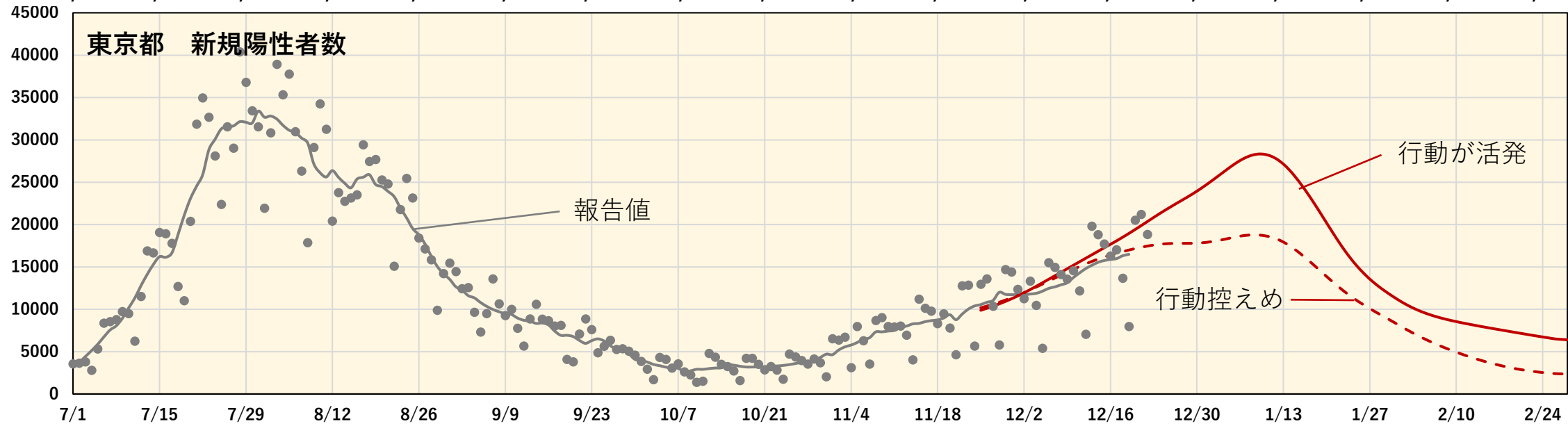
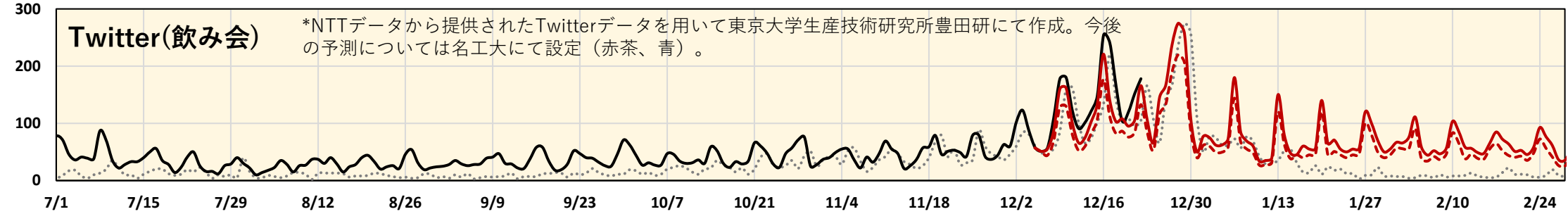
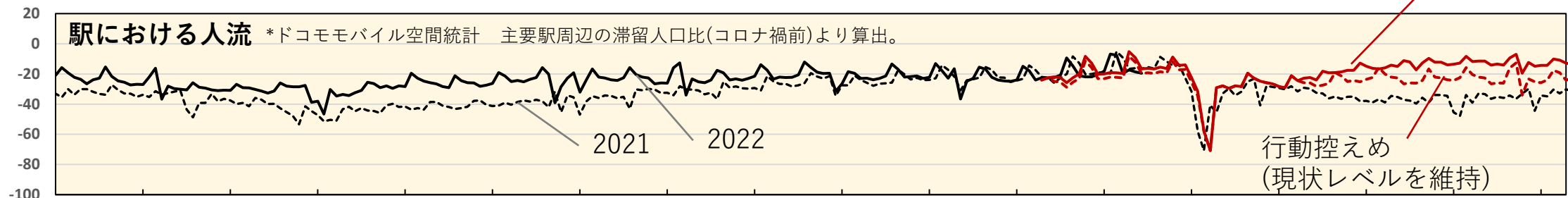
ワクチン接種率推移と計算での仮定

5回目接種率において、直近の実測値が推定値より高い値を示した。
これは近頃の第8波の影響を受け、ワクチンを接種する方が増加したためであると示唆される。



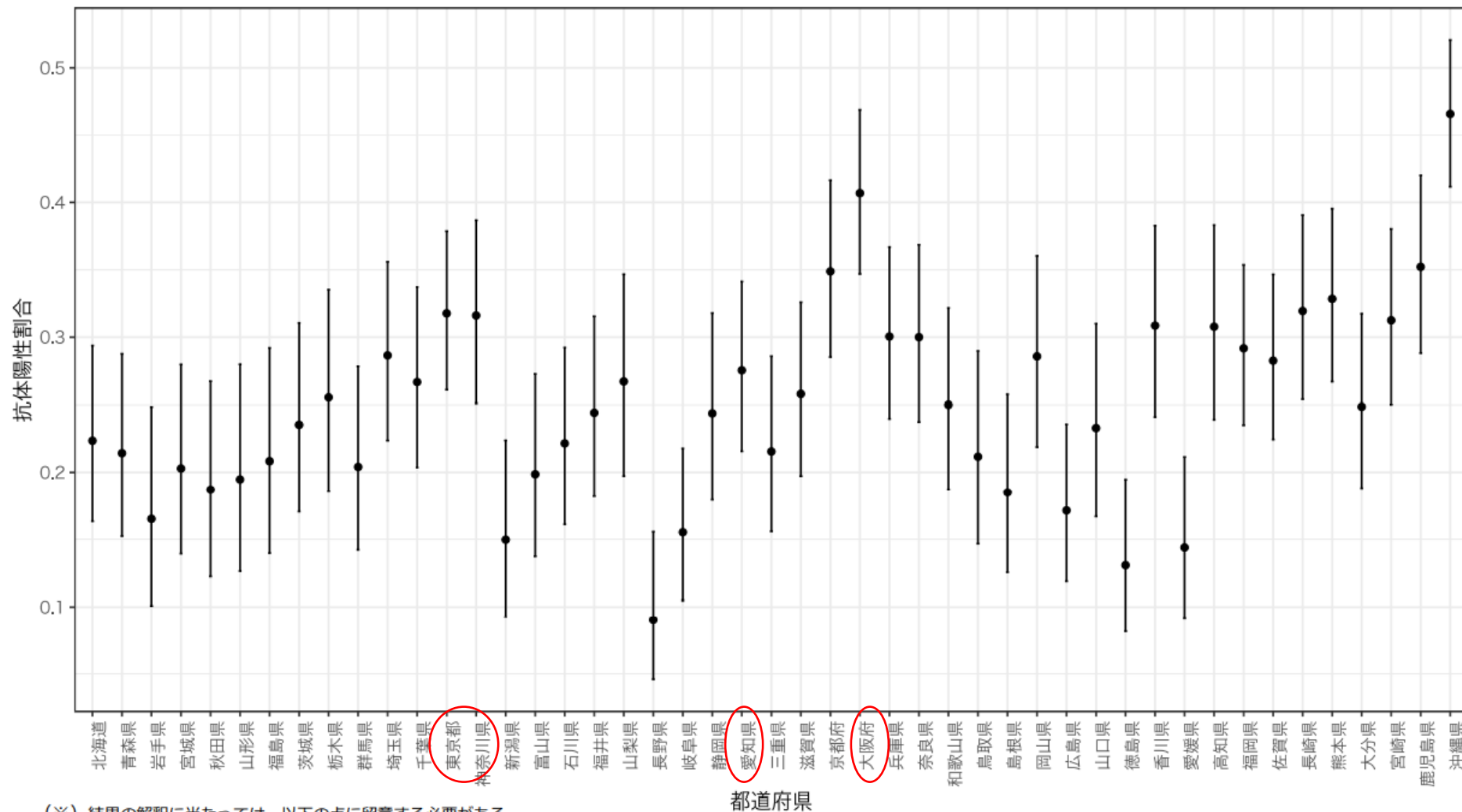
行動変容による新規陽性者数予測(12/13時点の予測)

行動が活発



ピーク形成要因は、1月上旬から行動のレベルが下る傾向にあるため。

献血時の検査用検体の残余血液を用いた新型コロナウイルスの抗体保有率実態調査 (結果速報、都道府県別※)



(※) 結果の解釈に当たっては、以下の点に留意する必要がある。
 ・今回の調査結果は、献血時における検体数を全検体数で算出した値であり、世帯数単位ではございません。

大都市圏以外における感染拡大の余地は大きい可能性

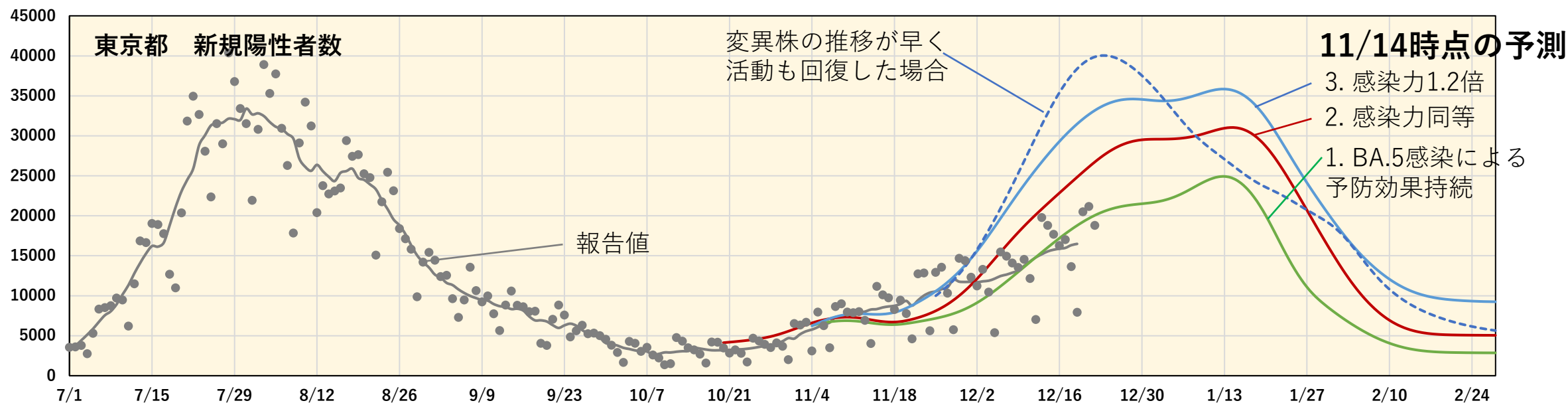
参考資料：新規陽性者数の予測(11/14資料)

新規変異株に関する知見の不確定性が大きいいため、下記3つのシナリオを想定し、置き換わりのスピードをP
実測値ベース+シナリオ1（感染研発表値と同等：P3参照）と仮定した場合の今後の新規陽性者数を予測。

※ 人流・行動については現在と同等のレベルが続き、年末年始は昨年と同等と仮定。

1. 新規変異株の感染力がBA.5系統と同等、かつBA.5系統感染によるハイブリッド効果が3割程度保たれた場合
2. 新規変異株の感染力がBA.5系統と同等、かつBA.5系統感染によるハイブリッド効果が新規変異株には効果がない場合
3. 新規変異株の感染力が実効再生産数ベースで1.2倍、かつBA.5系統感染によるハイブリッド効果が新規変異株には効果がない場合

※ 新規株に感染した際のハイブリッド効果は考慮している



死者数予測

